

2017/3/14

## (日々雑感 48)



数年前に、リストラ、降格を受けた15年前のことを思い出し、その折、会社がなくなっても立っていただけるだろうか？震災で家がなくなっても又立ち上がれるだろうか？家族が居なくなっても又歩き出すことが出来るだろうか？と様々な問いかけを自分にして、その結果、それら全てはバブルに過ぎないから、最後よって立つのは、この自分のアタマとところと身体以外にはない。それを上手にかみ合わせてフルに使うことこそ大切なのだと書きました。

そうして三日前の3月11日。去年のその日には考えも及ばなかった事ですが、今年の日、自分自身が帰る家を失って、震災被災者と似たような「避難生活」をする身の上になっていることに、はたと気づきました。

それで改めて、その数年前に書いた内容を思い出したのですが、実際自分が帰る家を失うような身の上になっても、あまりショックではないことを思うと、その時思ったことはあながち嘘ではない、ちゃんと根を持った思いだったのだなと改めて思いました。

現在のぼくは、アタマで考え、こころに感じ、身体を動かして、歩いて、話して、書いて居ます。

それで、これは何なのかなと思いを更に巡らしてみたのですが、思い当たったのは、英語ではなはだ恐縮なのですが、

Haveではなくて、Doの世界なんだと言うことでした。もう少し分かりやすく言うと、生きる目的が、あるいは価値があると思えることが、Haveすることではなくて、Doすることなのだ。

肩書きや家や家族を持つことではなくて、あるいは持っていることではなくて、考えたり、感じたり、歩いたり、話したり、書いたり「する」事の方がずっと大事なのだと思う心境なのです。だからアタマとところと身体の三位一体が必要だったのだろうし、それこそが本当の「真水の財産」だと思ったのだろうと、一昨日改めて気づかされました。

とにかく、この三つを使って、行けるところまで行ってみる。仲間を募って「一緒に行ってみようよ」にしよう、それを「後代にまで引き継いでいこう！」と現在、再創業を目指していろいろ企てているわけです。

ぼくは、ソフトバンクの孫正義さんのような大人物ではありませんが、彼が飽くなき事業拡張意欲をもって、これでもかこれでもかと先に行こうとする気持ちが何となく分かる気がします。

直近でもアラブの王様との間で10兆円ファンドなどを立ち上げて「事業拡張欲」つまり強欲と捉えられがちですが、ぼくから見ると「300年間保つ会社を発明する」という発想をもつ人は、自分の資産財産的にはとても無欲な人に思えます。

アメリカのテスラモーターズのイーロン・マスクさんにしても、会社が赤字で有りながら、更にドンドン資金を募って拡大投資をし、太陽光発電、電気自動車等の地球エネルギー延命にこだわった先に、資源を求めての宇宙事業にまで思いを抱くのは、やはり自分の資産財産的には無欲だからのような気がします。

そうして二人に共通していると思えるのは、ひとつは100年以上のスパンで物事を見ていることと、今ひとつは、守りに入ったらダメだ。そこで終わる。もう死ぬまで休まなくて良いから、守りにだけは入らせないでくれ。行けるところまで行かせてくれ、という気持ちを感じるころなのです。Haveすることではなく、Doすることを楽しんでいる気がするのです。

なに？自分の自慢話かよ！と思ってください結構です。

ただ、同じような性向でも、その人の持つ力量によって、出来るスケールが全く異なるのだということだけは、十二分に分かっております。